

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■ テーマ

『地域で支える、看取りを見すえた がん患者とその介護者のケア』

15:00～17:30 特別講演（ワークショップ）

聖ヨハネ会桜町病院 在宅診療部長
大井 裕子 先生

講師略歴

広島県生まれ 1992年広島大学医学部卒業
2006年よりホスピスで勤務
2009年オーストラリア緩和ケア研修修了
2014年より廿日市市で暮らしの中の看取り準備講座開催
著書：「〈暮らしの中の看取り〉準備講座」中外医学社



ワークショップ ファシリテーター：はつかいち暮らしと看取りのサポーター

地域（自宅や介護施設）での看取りが必須となるこれからの時代、医療介護職、そして家族の皆さんが、安心して「より良い**看取り**」を支えるために、あなたのできることを一緒に考えます。

司会・進行： 林 優美（広島大学病院 緩和ケアチーム医師）

■ 開催日時

平成31年 2月16日（土） 15:00～17:30
（受付時間：14:30～15:00）

■ 開催場所

広島大学病院 臨床管理棟3階大会議室

■ 対象者

がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師 他 医療従事者
定員：50名（申込み先着順）

参加申込は、広島大学病院医療支援グループ/がん治療センターへお知らせください。

メールアドレス: byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp FAX 082-257-1720

《主催》広島大学病院（都道府県がん診療連携拠点病院）

《共催》中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン